

国立大学法人鳥取大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和5年7月19日(水) 13:00~14:50 鳥取大学医学部総合教育棟1階多目的会議室	
委員	委員長 玉井 孝幸(高等専門学校教授) 委員 山根 朋洋(公認会計士・税理士) 委員 柿原 正樹(銀行経営統括部調査役)	
審議対象期間	令和4年4月1日~令和5年3月31日	
抽出案件(合計)	5件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
工事(小計)	5件	
一般競争 (政府調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (上記工事を除く)	5件	
工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別紙

<p>1. 令和4年度工事等請負契約に関する入札及び契約手続きの運用状況等について</p> <p>・特になし</p> <p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について</p> <p>(1) 鳥取大学（三浦）工学部 J 棟外壁等改修工事</p> <p>・資材価格が高騰している状況で、複数業者が低価格で応札している。予定価格と応札業者の内訳書には、数量等に大幅な相異がないのに低入札となるのか。</p> <p>・1者の応札価格だけが高額であるが、確認しているのか。</p> <p>・低入札調査結果に「事業所・倉庫と対象工事箇所との距離が比較的短く、現場管理費等の経費を低減することができた」とあるが、どういったことか。</p> <p>(2) 鳥取大学（米子）臨床研究棟東側外壁改修工事</p> <p>・1者応札で、予定価格の範囲内で落札した場合は、低入札価格調査のような調査は行っていないのか。</p>	<p>・企業努力による経費削減によって低入札となった。</p> <p>・内訳書を確認したところ、諸経費による価格の差である。</p> <p>・現場への通勤距離や資材倉庫等からの距離が短いことを確認している。今後は、近距離において、どういった経費を低減することができるかなど、精度を上げて確認したい。</p> <p>・行っていない。なお、辞退した業者へは理由等についてヒアリングを実施している。</p>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリングでは、1者応札となった事項についても確認した方がよいのではないのか。</li> <li>・工期については、適切だったか。</li> <li>・主任技術者の配置ができないため、入札を辞退することは、多々あるのか。</li> <li>・公告日は違うが、契約日が同じものが複数ある。同時期に公告がでていて、1者応札や辞退の原因となっていないか。</li> <li>・辞退となるのは、どの時点か。</li> <li>・競争参加資格の地域要件を拡大した効果は、あったのか。</li> <li>・主任技術者については専任か。</li> <li>・競争参加資格の施工実績から、鉄骨造（S造）を外している理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、確認した上で、さらに入札に参加しやすい条件設定を検討する。</li> <li>・工期については適切だったと判断している。</li> <li>・応札業者が他の公共工事等と重なって参加資格を有する場合に良くある。</li> <li>・工種や工事場所が違っており、1者応札や辞退の原因ではないと考えている。</li> <li>・図面等を確認した上で、応札時に辞退と入力するか、又は金額を入れなければ辞退となる。</li> <li>・参加業者（辞退含）は、近隣の事業者であり、拡大した効果はなかった。</li> <li>・専任ではない。</li> <li>・改修工事における建物の外壁が鉄筋コンクリート造であることを踏まえた施工実績としている。</li> </ul>
<p><b>(3) 鳥取大学（医）生命科学科棟2階染色体医工学講座改修工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競争参加資格の地域要件を鳥取県、島根県としている理由は何か。</li> <li>・受注者としては、(2)の工事も受注しているため工事を施工する上では有利なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事規模から、地域要件を拡大しても効果がないと判断した。</li> <li>・可能性としては考えられるが、工期、工種が違うため、有利になるとは考えていない。</li> </ul>

<p>・ 7、8月は県等における大型工事等の入札があったのか。</p> <p>・ (2) の工事と一緒に発注するメリットがあったのではないか。</p> <p><b>(4) 鳥取大学（米子）研究支援棟 A 放射線中央監視装置更新工事</b></p> <p>・ 複数の業者が参加できる仕様となっているのか。また、既存のシステムとの関係性はどうか。</p> <p>・ 応札者の見積金額から経費等が減額され応札金額となっている根拠は分かるか。</p> <p>・ 最初に参考見積りを徴取した者以外にメーカーが見積りを出さないという話があるかどうか。</p> <p><b>(5) 鳥取大学（医病）病棟 6 階クリーンルーム改修機械設備工事</b></p> <p>・ 落札するまで、入札は続くのか。</p> <p>・ 公告を年度末に出して、工事着工は年度明けからとなっている理由は何か。</p>	<p>・ 確認はしていないが、一般的に学校関係等は、夏休み期間に工事の実施を行うことが多いと思われる。本学についても同様である。</p> <p>・ 工期、工種が違うため、一概にメリットがあったとは考えていない。</p> <p>・ 複数の業者から参考見積りを徴取できている、競争性を確保した仕様になっていると考えている。また、監視装置などは既存システムの周辺機器の更新も含めて、入札に参加したいという業者もある。</p> <p>・ 企業努力によるものと考えている。</p> <p>・ 複数の業者から参考見積りを徴取できている、競争性が確保できていると考えている。</p> <p>・ 入札は原則 2 回で打ち切りとなっており、その後、不落により協議の上、見積合わせを行っている。</p> <p>・ 物品供給契約において発注しているクリーンルームの設置工程の関係から、この工期となっている。</p>
--	--

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 図面の交付状況は、どうなっているのか。</li></ul> <p><b>3.報告.再苦情の申立て状況について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 特になし。</li></ul> <p><b>4. その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事務局より、文部科学省から「工事成績評定への再苦情に係る第三者委員会の設置について」の照会があったことに対する本学の対応として、本委員会要項の一部改正を行い、委員会の審議事項に工事成績評定への再苦情に係る事項を追加することについて説明があり、委員の了承を得た。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 工事説明書、図面等については、本学ホームページからダウンロード可能である。また、図面の閲覧については、パスワードが必要であり、パスワードの問い合わせ件数は、(1)の工事で、12件であった。</li></ul>
--	--